

(様式第1号)

自己評価及び外部評価結果票

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4150180018		
法人名	医療法人 清友会		
事業所名	グループホーム 和泉		
所在地	佐賀市久保泉町大字川久保5457番地		
自己評価作成日	平成28年12月12日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/41/index.php?action_kouhyou_pref_topjigyosyo_index=true
-------------	---

平成29年3月15日よりURLが変更になります。新しいURLは『www.kaigokensaku.mhlw.go.jp』です

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市鬼丸町7番18号		
訪問調査日	平成29年1月24日	外部評価確定日	平成29年2月28日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>病院併設のグループホームである為、医療との連携が密に行えるようにしている。また、状態の変化が生じた場合、すぐに医師・看護師が来室できる体制が整っている。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>事業所は久保泉町の自然豊かな山手の集落に位置している。敷地内には、認知症の治療に重点を置く、法人母体の病院や老人保健施設、デイケアセンター等が隣接し、それぞれの機能を活かした連携が図られている。事業所は開設から15年余が経過し、経験豊かな職員も多く、経験と知識を活かした支援が行われている。事業所内は家庭的な設えで、落ち着いた雰囲気が漂い、居間兼食堂の壁には、心温まる利用者のちぎり絵等が大事に飾られている。職員は優しい穏やかな雰囲気で、一瞬一瞬を大事にしながら、一人ひとりの楽しみや残存機能を活用した、その人らしい自由な暮らしを支援している。安心安全な環境作りへの工夫も随所に見受けられ、居室では洗面台に水を溜めたり、濡れタオルを下げる等して湿度の確保に努めている。</p>

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	住み慣れた地域で「その人らしく」生活していただけるよう、職員一丸となって取り組んでいる。	地域密着型サービスの意義と役割を踏まえた理念を作成している。人事異動時には管理者が職員に理念を説明し、また、職員会議でも話し合う等して理念の共有を図り、実践に取り組んでいる。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の行事や活動は参加していないが、常に見学などの受け入れは可能にしている。	散歩の時等に近隣の方と挨拶を交わしたり、事業所便りを地域で回覧してもらっているが、地域活動や住民との積極的な関わりを持つまでには至っていない。	地域密着型サービスの向上には、地域との交流が不可欠である。運営推進会議等を活用し、地域活動や人々との交流に一層取り組まれることを期待したい。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	法人での取り組みはしているが、事業所単独での取り組みは行っていない。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	外部評価の結果について報告を行い、委員から意見を聞いている。	運営推進会議は2ヶ月に1回開催され、運営状況や行事等の報告、その時々のテーマに関する話、質疑応答等がなされている。毎回、メンバーである全家族に案内をしているが、ほとんど参加が得られていない。	家族の参加が得られるための方策を再検討し、運営推進会議が益々サービス向上にますます繋がることを期待したい。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	主に運営推進会議で行っている。また、法人担当者が市町村との連携を行っている。	併設施設の中に、行政との窓口が設置されており、通常はその窓口を通して行政との連携がとられている。管理者は運営推進会議で、地域包括支援センターの職員と交流している。	

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束は行っていない。また、玄関の施錠も必要時以外は行っていない。	身体拘束や虐待の防止に関する研修会を実施しており、職員は身体拘束の禁止行為等を理解し、拘束をしない支援に取り組んでいる。昼間、玄関は施錠しておらず、自由に出入りができる。居間と玄関の間のドアには、鈴を付け見守りに役立てている。利用者の外出気配時には制止することなく、さりげなく付き添って見守っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待が見過ごされないように注意を払っている。また、虐待防止に関する勉強会を行っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	H25年度に成年後見制度の勉強会は実施している。また必要時法人相談員と連携を図り、支援できる体制は整っている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居時に説明を行い同意を得ている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時に家族より要望などを伺うようにしている。また玄関に、ご意見箱を設置し運営推進会議にも参加を呼びかけている。	面会時や電話連絡時等に繰り返し声をかけ、意見や要望等を聞くように努めている。要望等が出された時には、速やかに職員間で検討し対応している。また、玄関には意見箱を設置すると共に苦情申立て機関を明示している。	

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月検討会を実施し、法人からも参加している。また、日々の業務の中でも意見が反映できるように取り組んでいる。	管理者や法人の担当者は、毎月の職員会議及び日々の業務の中で、職員の意見や提案等を聞き、運営に反映している。職員も積極的に提案等を行っている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の勤務状況を把握し(申請書の提出)、必要時個人面談を行い、職場環境の整備に努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎月勉強会を実施し、施設外研修などにも参加を行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同一法人の他のグループホームと毎月勉強会を実施し交流している。また、地域包括支援センターの勉強会等に参加し、地域の事業所と交流している		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用前や入居時に面談を行い、要望などを聞きながら情報収集に努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	利用前や入居時に面談を行い、要望などを聞きながら情報収集に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人や家族などから要望をお聞きし、必要であれば他のサービスも利用できる体制は出来ている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	洗濯物干し、洗濯物たたみ等手伝って頂いたり、行事の際に習わしを教えて頂いたりしている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時や電話連絡などで近況を報告し、必要時要望などを聞きながら計画を作成している。また、運営推進会議に全家族毎回参加を呼びかけている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族の協力を得ながら、馴染みの美容室へカットに行かれたり、法要へ出席されている。	職員は利用者の馴染みの人を把握しており、事業所や併設のデイケアサービスでの友人との面談及び便り、電話等での交流を支援している。また、家族の協力を得ながら、馴染みの美容室の利用や法要等への参加も支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	食事の準備や洗濯物たたみ等、入居者様同士協力しあって行われている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	利用されている病院や施設に面会に行ったり、家族と会った時に話したりしている。必要時相談員などとの連携も図るようにしている。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居者様や入居者家族と相談しながら決めている。	入浴介助時や日々の会話、表情等から利用者の希望や思いを把握している。意思の疎通が困難な場合には、家族と相談しながら本人本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居者様についての連絡表や相談記録などがあり、生活歴の把握に努めている。また、入居前の担当ケアマネや家族にも様子を尋ねたりしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居者それぞれの言動や手伝いの内容、レクへの参加の有無などを記録し把握している。毎月の検討会で情報交換を行っている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	面会時や電話連絡の際に家族の意見を尋ねている。検討会の時に本人の考えや状況を伝え、話し合いを行っている。	本人及び家族の希望や意向を確認し、関係者で話し合い、本人本位の介護計画を作成している。毎月の評価と6ヶ月ごとの見直しを行い、現状に即した計画で支援している。状態に変化が生じた時には、速やかに見直しを行っている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	入居者様の状態を出来るだけ詳しく記録するようにしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	要望に応えるようにしている。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	警察や消防、公共機関などに理解を頂いている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前のかかりつけ医への受診なども継続し、ご本人やご家族の要望を聞きながら支援している。	利用者や家族が希望される医療機関の受診を支援しており、以前からのかかりつけ医との連携も良好である。法人母体が医療機関であることは、家族の安心にも繋がっている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師が月の半数は勤務(夜勤を含む)しており、必要時は電話連絡を行っている。また、併設の病院からも看護師に来てもらい処置などを受ける事が出来る。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	併設病院の主治医などと相談しながら対応している。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	状態の説明など主治医との連携を図りながら方針を決定しチームケアが出来る体制は整っている。	管理者は契約時に、重度化や終末期の支援に係る指針を本人・家族に説明し、意思の確認を行っている。重度化や終末期の支援を要する場合には、医療機関と連携し、本人・家族の意向を尊重した支援に取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	今年度は行っていないが、定期的に緊急時の対応についての勉強会を行っている。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に2回、避難訓練を行っている。また、災害対策マニュアルも整備している。	隣接する併設施設と合同で、消防署の協力も得ながら、年に2回、夜間の火災を想定した通報・避難誘導等の訓練を実施している。地域住民の訓練への参加を得るまでには至っていないが、傍に、職員寮があり、万一時には、通報がなされる。法人では災害に備えて3日分の食料等を備蓄している。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者様中心の生活の場である事を認識し、言葉遣いなど細心の注意を払っている。	接遇研修等も行われており、職員は馴染みの関係の中にも節度を心した、優しい笑顔と穏やかな雰囲気言葉かけや対応を行っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者様本人と会話をする事で、思いや希望を聞くようにしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	見守りを重視し、本人のペースを大切にしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	昔からの愛用の化粧品を使用したり、家族の協力を得て、今までの美容院に行かれたりされている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	その日の献立について話題にしながら一緒に準備し、食事を摂り、後片付けを行っている。	利用者に献立の希望を聞いたり、一緒に下拵えや味見等もしながら準備している。食事の時には、職員も一緒にテーブルを囲み、楽しい雰囲気を作りながら食事をしている。	

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	咀嚼や嚥下状態に応じて、常食や刻み食などの提供を行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に歯磨きを行っている。また、義歯の方は入れ歯洗浄剤を使用している。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を用いて、各自の排泄パターンを把握し、トイレの声かけや誘導を行っている。	利用者一人ひとりの力や排泄パターンを活用し、全員をトイレでの排泄で支援している。下着の改善もみられる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	散歩や軽体操を行ったり、時にはマッサージを施したりしている。また、牛乳やヨーグルトを使用したり、繊維質の多い食材を使って便通を良くするように工夫している。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	湯の温度や時間など一人一人に合わせるようにしている。	基本的には週3回の入浴を支援しているが、希望があれば毎日の入浴も可能である。利用者に合わせて湯温や時間を調整したり、入浴剤を使用する等し、入浴を楽しんでもらえるように支援している。浴室の手すりには、カラーテープを巻いて分かりやすいように工夫している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	入居者様の状況を見ながら休息を促すようにしている。日中はレクリエーションなどを行い、夜間の睡眠につながるように配慮している。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬状況を把握し、薬の内容に変更があれば、看護師に聞いたり、薬辞典で調べるようにしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	めだかの飼育や洗濯物干し、食器洗いの手伝い等していただいている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気の良い日は戸外へ散歩に出かけている。また、家族の協力を得て墓参りや親族の家への訪問などもされている。	天気の良い日には散歩に出かけている。また、併設のデイケアサービスに出かけることもある。個別の外出は家族の協力を得ながら支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現在現金を所持されている方はいらっしゃらず、また買い物なども行っていない。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話をしたり、手紙を出したり、いつでも連絡が取れるようにしている。携帯電話を所持されている利用者もおられる。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	日差しが眩しい時等はブラインドを下ろすなど調節している。また、季節の行事にちなんだ飾り付けをするようにしている。	居間兼食堂の壁には、心温まる利用者の作品(ちぎり絵・塗り絵等)が大事に飾られており、日常の支援の様子が垣間見られる。事業所内は見通しが良く、広さも適当で家庭的で落ち着いた雰囲気である。また、台所には天窓が取り付けられ明るくなっている。各居室と居室の間にトイレがあり、分かりやすい環境である。日当たりの良い南側の窓には、ブラインドを設置し日射しを調節している。	

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	畳のスペースがあり、ソファなども置いており、自由に利用できるようにしている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご家族の協力を得ながら、本人の使用していたものを持って来て頂くようお願いしている。	職員は家族に利用者の馴染みの品の持ち込みを相談し、安心感のある居心地の良い居室作りを支援している。また、湿度の確保のために、洗面台に水を溜めたり、濡れタオルを下げて置く等の工夫や、ベッド及び柵に怪我防止のための保護布を巻く等、安全面への配慮も見られる。居室には週刊誌、ラジオ、歌手のポスター、携帯電話、時計、趣味の道具、家族の写真等があり、利用者の楽しみ等がうかがえる。二人部屋が一室あり、気の合う人同士で利用されている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手摺りの設置や浴槽の滑り止めなど安全に配慮している。		

V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目)(事業所記入)
※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印をつけてください	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の
			2. 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印をつけてください	
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている
			2. 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない